

山口ともゆき

プロフィール

昭和 35 年 1 月 29 日生 今津中学校、高島高等学校、日本大学法学部法律学科を卒業。

昭和 58 年滋賀県庁入庁以後、福祉、環境、商工観光、農政水産、土木交通など幅広い分野で勤務。いつも住民の立場で考え行動することをモットーとしてきた。

途中、厚生労働省へ出向し少子化対策を担当したほか、高島市副市長も経験。地元では、有志とともに耕作放棄地を活用してオリーブを栽培し、新たな特産品づくりを目指している。

『ほどよい都会』『ほどよい田舎』の高島を目指して

主役は市民

高島を変える 6 本の柱

①にぎわいと元気

- 兼業農家(半農半 X)を評価し耕作放棄地を解消
- もうかる観光産業をめざした取組みの実施

②教育環境の充実

- 安曇川支所跡地の教育や福祉用途での活用検討
- 少人数授業を展開し、個に応じた指導で学力向上

③希望と笑顔あふれる市

- 第 3 子以降に月額 3 万円を支給、少子化対策の推進
- 女性の活躍や障がい者の社会参加を促進

④環境保全・自然災害対策

- 安曇川の清流や琵琶湖を守るごみ焼却場の改築
- 異常気象の中での洪水や土砂災害の予防

⑤健康で安心な暮らし

- 新型コロナウイルスの相談窓口を充実
- 市民病院の体制強化と病院経営の安定

⑥新たな魅力 創出

- 官民共同出資のまちづくり会社の創設で地域づくりを推進
- 交通インフラを整備し、人と物が行き交う環境づくり